

2016年3月期 決算説明会

(2015年4月1日～2016年3月31日)

株式会社 精工技研

2016年 5月17日

- I. 2016年3月期 連結決算概要
- II. 中期経営計画 マスタープラン2016
- III. 2017年3月期 連結業績見通し

- I. 2016年3月期 連結決算概要
- II. 中期経営計画 マスタープラン2016
- III. 2017年3月期 連結業績見通し

2016年3月期 連結決算ハイライト①

(百万円)	2016年3月期	2015年3月期	対前期増減率	業績予想値 (2015/11/14)
売上高	12,182	11,517	+ 5.8%	12,170
精機部門	7,594	6,814	+ 11.4%	7,320
光製品部門	4,587	4,702	△2.4%	4,850
営業利益	930	548	+ 69.6%	800
経常利益	967	644	+ 50.0%	840
当期純利益	550	303	+ 81.2%	420

2016年3月期 連結決算ハイライト②

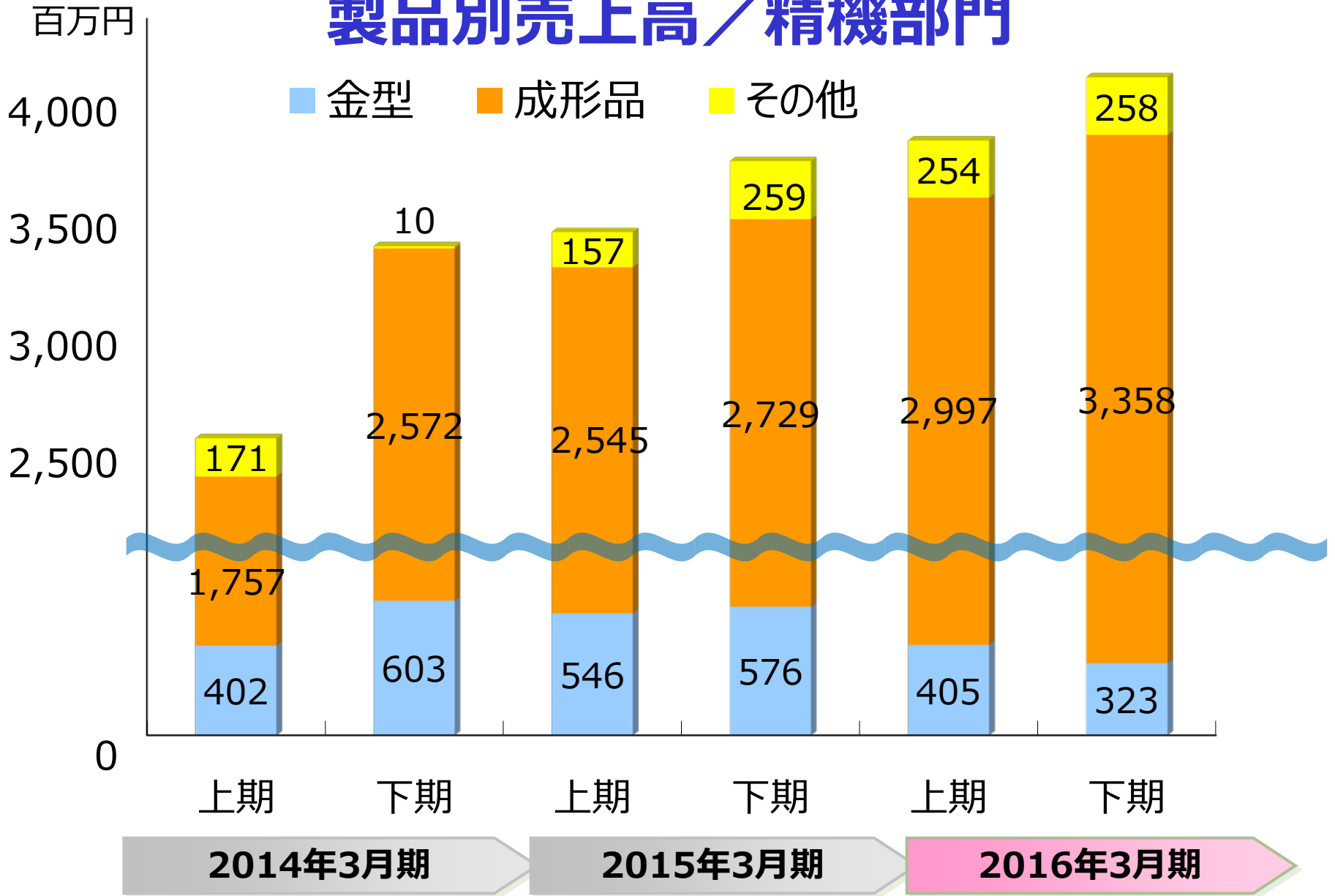
(百万円)	2016年3月期	2015年3月期	対前期増減率
受注高	12,539	11,773	+6.5%
受注残	1,413	1,056	+33.7%
設備投資	1,541	819	+88.2%
減価償却費	961	958	+0.3%
研究開発費	350	362	△3.2%

セグメント業績／精機部門

(百万円)	2016年3月期	2015年3月期	対前期増減率
売上高	7,594	6,814	+ 11.4%
営業費用	6,977	6,509	+ 7.2%
営業利益	617	305	+ 102.3%
営業利益率	8.1%	4.5%	—

製品別売上高／精機部門

■ 金型 ■ 成形品 ■ その他

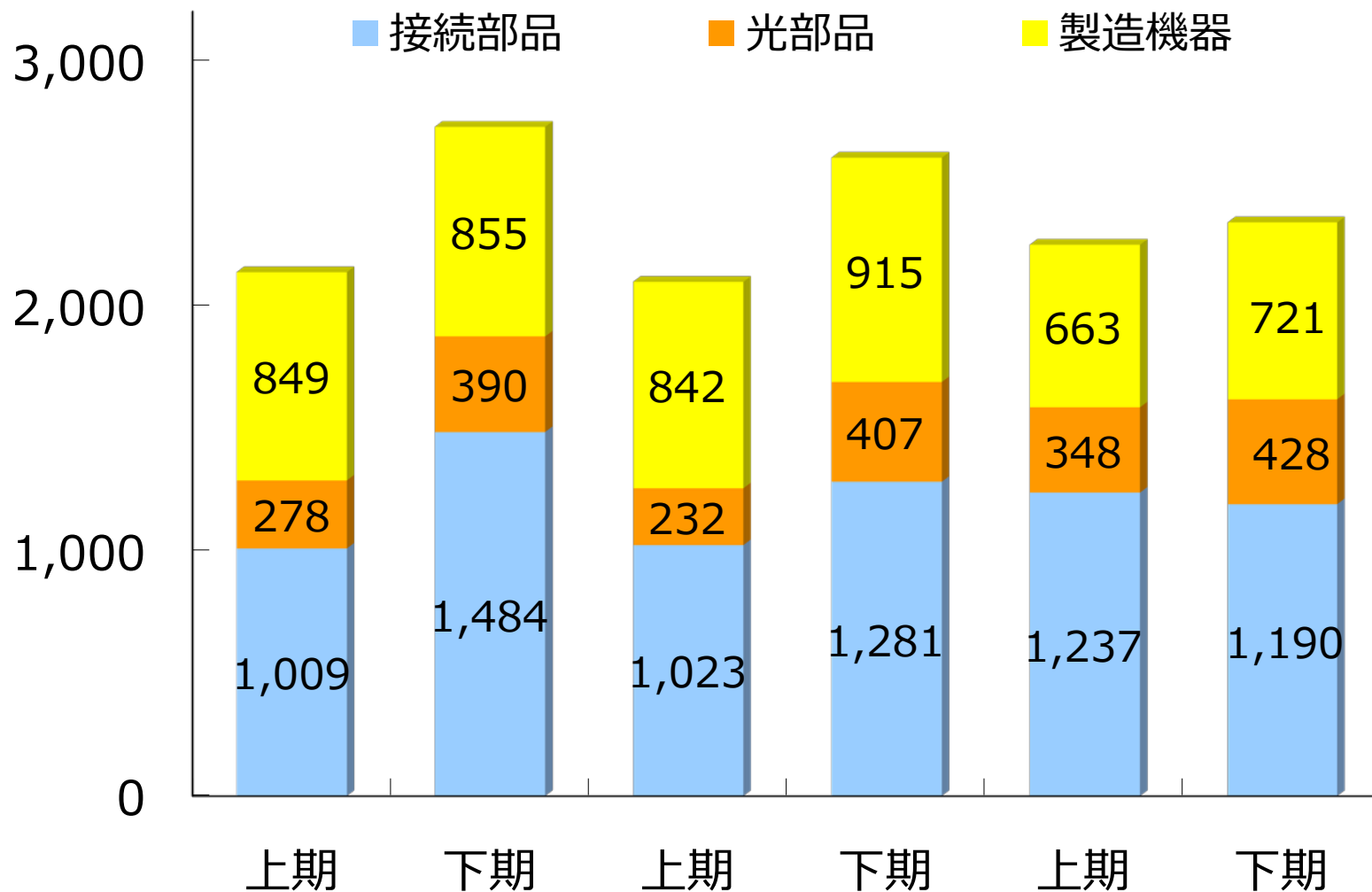


セグメント業績／光製品部門

(百万円)	2016年3月期	2015年3月期	対前期増減率
売上高	4,587	4,702	△2.4%
営業費用	4,274	4,456	△4.1%
営業利益	313	245	+27.5%
営業利益率	6.8%	5.2%	—

製品別売上高／光製品部門

百万円



2014年3月期

2015年3月期

2016年3月期

連結貸借対照表

(百万円)

<資産の部>	2016年3月期	2015年3月期	増減額
流動資産	14,417	14,236	+ 181
固定資産	10,422	10,013	+ 409
資産合計	24,840	24,250	+ 590
<負債及び純資産の部>			
流動負債	2,591	2,184	+ 407
固定負債	1,058	1,042	+ 16
純資産	21,190	21,022	+ 168
負債純資産合計	24,840	24,250	+ 590

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2016年3月期	2015年3月期
営業キャッシュ・フロー	1,233	882
投資キャッシュ・フロー	△801	△1,012
財務キャッシュ・フロー	△72	△68
現金増加額	301	△74
期首残高	2,526	2,601
期末残高	2,828	2,526

- I. 2016年3月期 連結決算概要
- II. 中期経営計画 マスタープラン2016**
- III. 2017年3月期 連結業績見通し

～ 中期経営計画 マスタープラン2010の総括 ～

マスタープラン2010の概要

■ 目指す企業像

■ 経営理念

すぐれた技術と独創性で質の高い商品を提供し、
社会の進歩発展に貢献して、
会社の成長と社員の幸福を追求すると同時に
その社会的責任を果たす。

■ ビジョン

精密加工を核に、世界の顧客のベストパートナーになる
～ 顧客の成長に必要な唯一無二の存在 ～

■ 経営目標

連結売上高 : 100億円 / 連結営業利益 : 13億円

マスタープラン2010の概要

■ 基本方針

■ 事業再構築

事業の選択と集中

■ 事業拡大

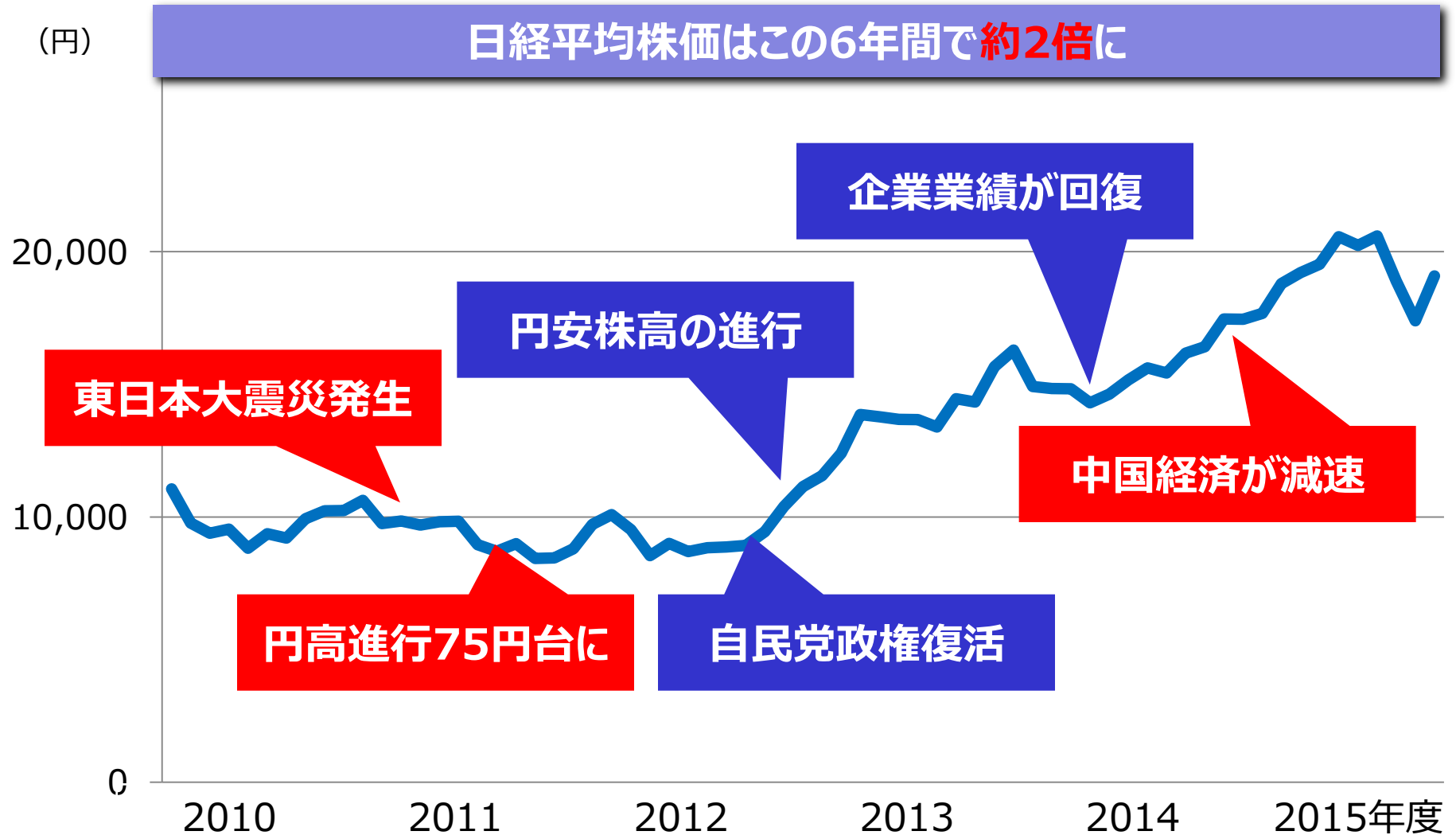
- ・ 既存事業 : 販売戦略 (製品別・顧客別)
- ・ 開発事業 : 選択と集中 / 事業化加速 / 新世代製品

■ 組織変革

組織運営体制 / 人事制度の大幅な見直し

市場環境の変化

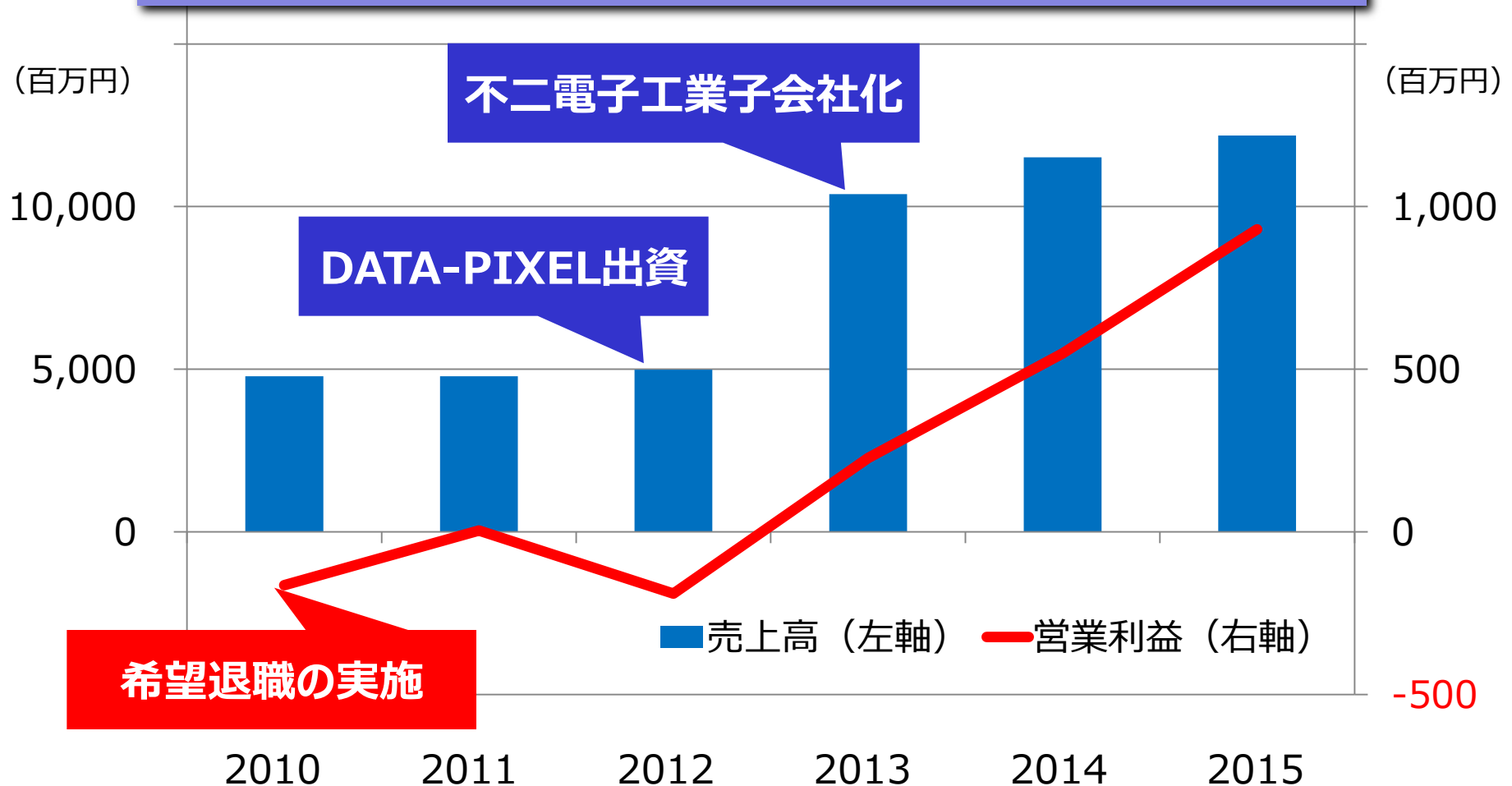
■ 日経平均株価推移と国内外の主な出来事



当社グループの変化

■ 6年間の施策と連結業績推移

売上高は**2倍以上**に 営業損益は**黒字を回復**



マスタープラン2010の総括

計 画		アクション	成 否
定性計画	事業再構築	<ul style="list-style-type: none"> ・希望退職の実施により固定費削減 ・研究開発案件の選択と集中 	◎
	事業拡大	既存事業：販売戦略 <ul style="list-style-type: none"> ・既存事業の売上高はほとんど変わらず ・DATA-PIXEL社出資により製品ラインアップを拡大 	×
	事業拡大	開発事業： 選択と集中/事業化加速/ 新世代製品 <ul style="list-style-type: none"> ・成形品ビジネス強化の目的で不二電子工業を子会社化 ・精密成形ビジネスは引き合い増加中 	○
	組織変革	組織体制・人事制度の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・新しい会議体を開始し、グループ内コミュニケーションを強化 ・拠点インセンティブ制度/資格取得支援制度等を新設 ・人事制度の抜本的改革は先延ばしに 	△
定量目標	連結売上高 100億円 連結営業利益 13億円	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年度連結売上高 121億円 目標達成 ・2015年度連結営業利益 9億円 目標に届かず 	△

～ 中期経営計画 マスタープラン2016 ～

マスタープラン2016の位置付け

■ 第50期となる2021年度を最終年度とする6ヶ年中期計画

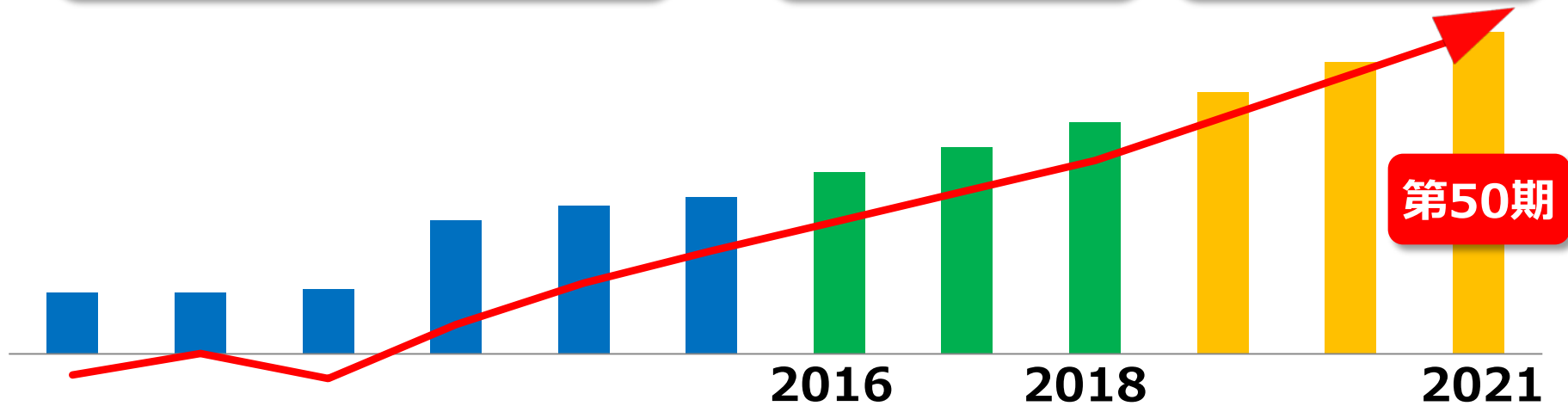
マスタープラン2010
2010年度～2015年度

構造改革とM&Aによる
利益の回復

マスタープラン2016
2016年度～2021年度

第1フェーズ
2016～2018

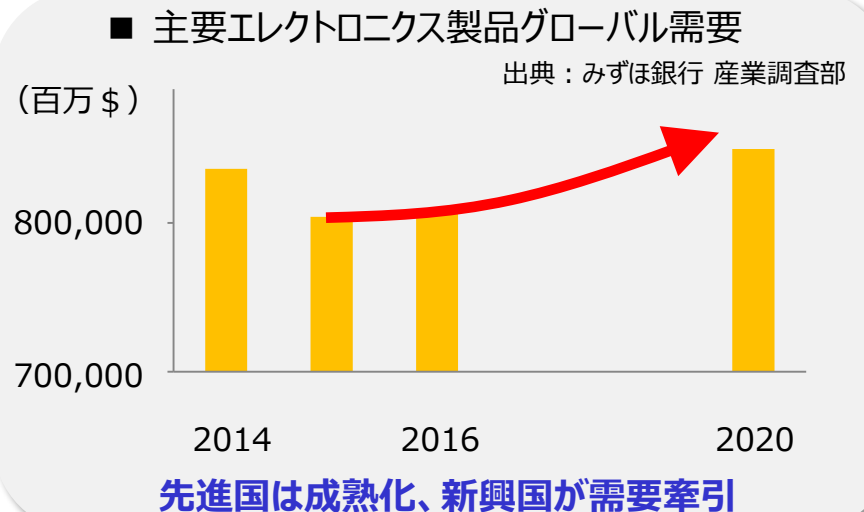
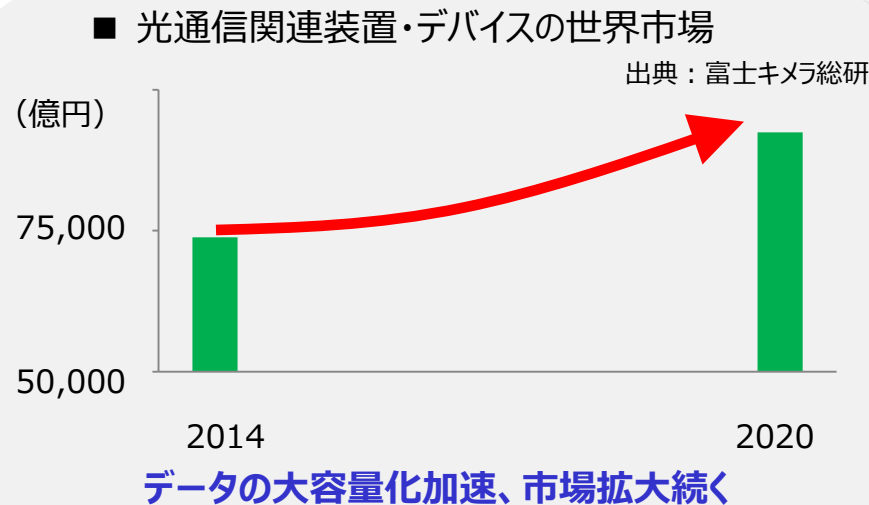
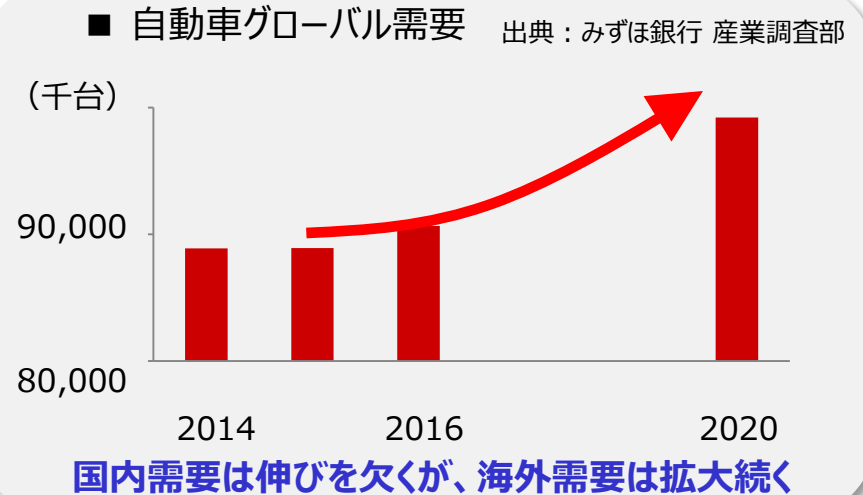
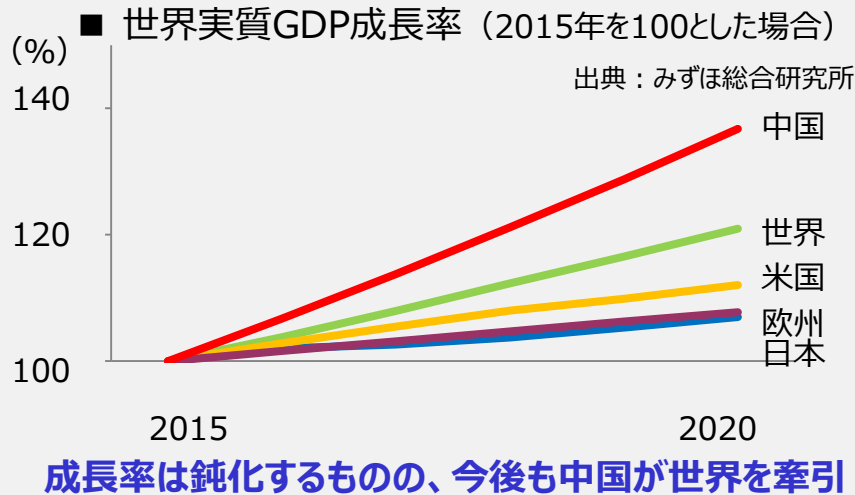
第2フェーズ
2019～2021



次なる50年に向けた通過点として2021年度末に目指すべき企業像を設定し、第1フェーズ、第2フェーズの2期に切り分けて、その実現に向けて施策を展開する

環境分析

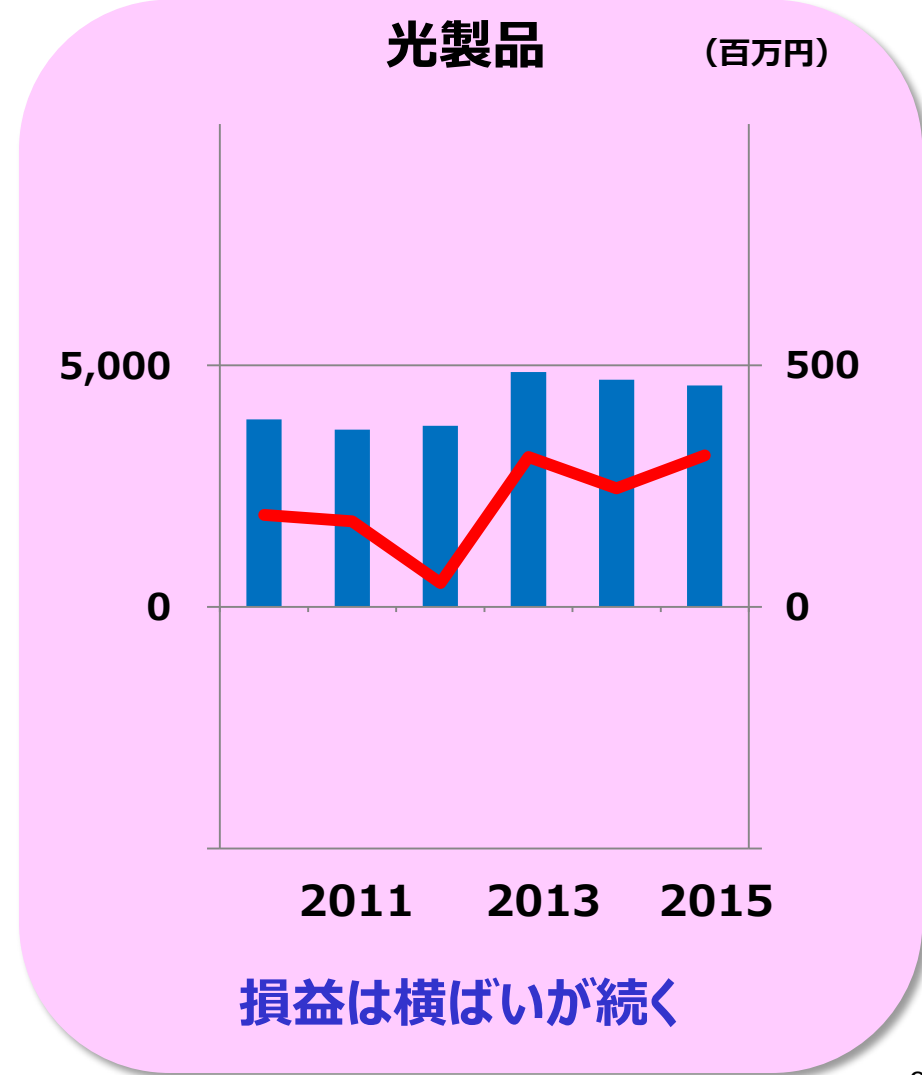
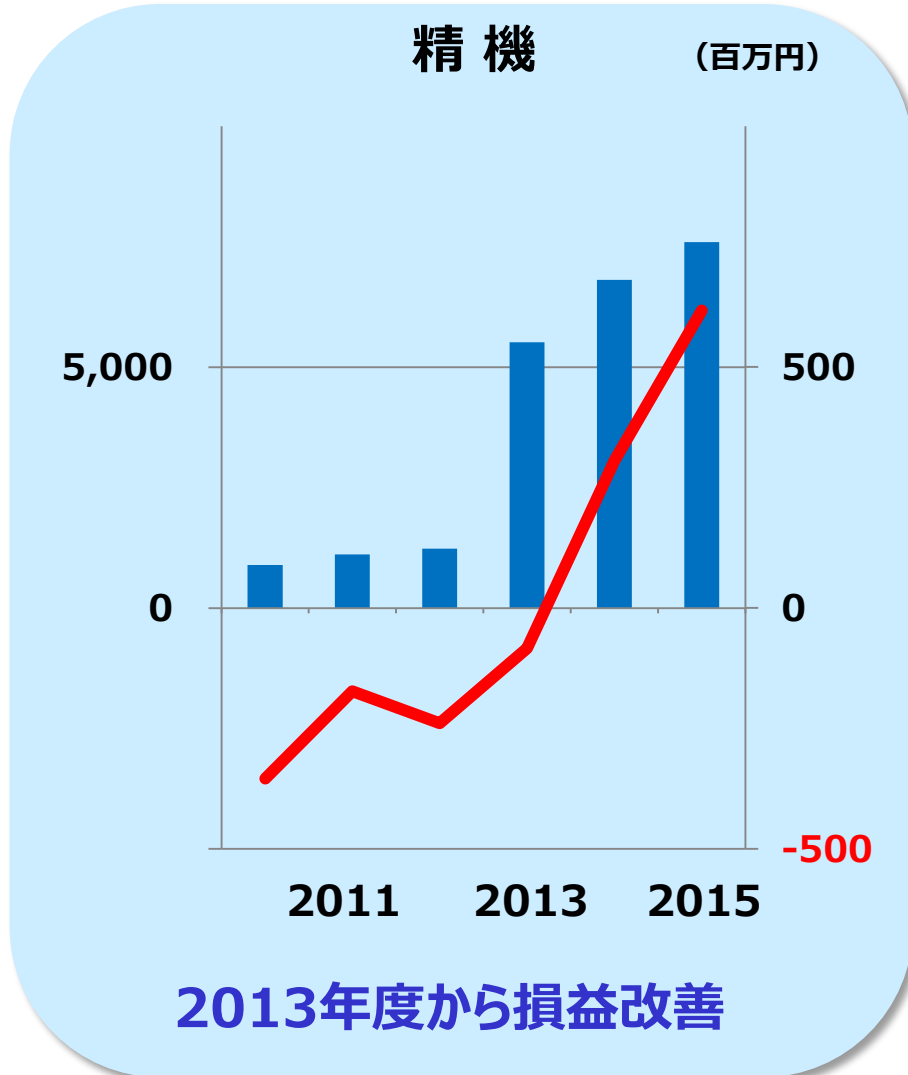
■ 外部環境分析（当社グループを取り巻く市場予測）



環境分析

■ 内部環境分析 (2010~2015年度 事業別業績推移)

棒グラフ ⇒ 売上高：左軸
折れ線グラフ ⇒ 営業利益：右軸



目指す企業像

■ 私たちのビジョン

■ 経営理念

すぐれた技術と独創性で質の高い商品を提供し、
社会の進歩発展に貢献して、
会社の成長と社員の幸福を追求する。

■ ビジョン

私たちは

「世界の顧客のベストパートナーとなる」ために挑戦し続けます。

- ・ 精密技術で、顧客から最も頼りにされる存在となります
- ・ 柔軟な発想で、新事業・新製品・新技術を創造します

目指す企業像

■ 2021年度の定量的目標と連結営業利益構成イメージ

■ 2021年度経営目標

連結売上高 250億円

連結営業利益 25億円以上



第1フェーズの基本戦略

■ 2016年度～2018年度 基本戦略

1 既存事業の収益力強化

- 販売力の強化
- 価格競争力の強化
- 新製品・新技術開発の加速

2 事業ポートフォリオの最適化

- 次世代事業の創出
- 不採算事業の合理化

3 経営基盤の強化

- 人財力の強化
- 成長への投資
- 経営管理の強化

1 既存事業の収益力強化

■ 精機事業

精密金型と製造技術を核に、付加価値の高い成形品ビジネスへ

■ 販売力の強化

- ・ 自動車、医療、バイオ分野の新規顧客開拓
- ・ 既存顧客との関係強化

■ 価格競争力の強化

- ・ 金型 + 成形 + 後工程 で、高付加価値ビジネスモデルを創造
- ・ 自動機内作で他社と差別化
- ・ 千歳工場の円滑な立ち上げ

■ 新製品・新技術開発の加速

- ・ 精密金型技術、薄肉成形技術、微細転写技術のさらなる向上
- ・ 主要顧客と新製品の開発段階から共同で取り組む体制を構築



1 既存事業の収益力強化

■ 光製品事業

通信分野は「多芯化」への対応強化、非通信分野を積極拡大

■ 販売力の強化

《通信》 市場に応じた販売戦略により、販売拠点の営業力強化

《非通信》 光電界センサー、光ファイバリンクの国際標準規格化
車両電磁界計測器としてデファクトスタンダード化

■ 価格競争力の強化

《通信》 自動化促進、品質管理強化で生産性を向上

■ 新製品・新技術開発の加速

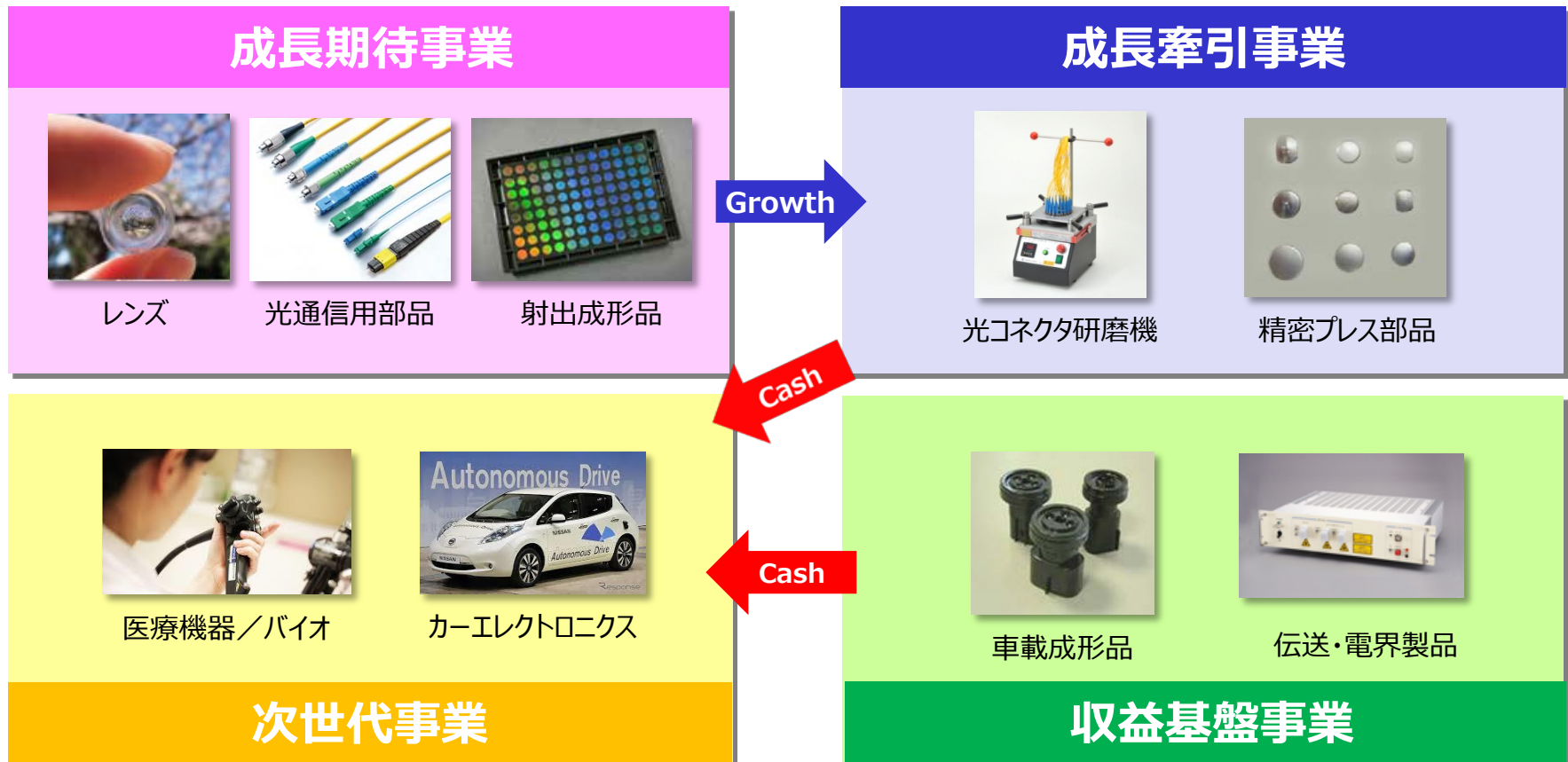
《通信》 「多芯化」対応の新製品開発を加速

《非通信》 医療等の成長市場へ光学技術を横展開



2 事業ポートフォリオの最適化

■ 次世代事業の創出／不採算事業の合理化



- 「成長期待事業」の収益創出に取り組み、「成長牽引事業」へと移行させる
⇒ 収益化が困難な不採算事業は合理化を実施
- 「成長牽引事業」と「収益基盤事業」で獲得したキャッシュを「次世代事業」の創出に充てる

3 経営基盤の強化

■ 持続的な成長を支える、強固な経営基盤の確立

■ 人財力の強化 ～ 全社員が有する能力を100%発揮できる組織に ～

- ・ 行動指針 “3C” ⇒ **C**hallenge (挑戦) **C**ommunicate (連携) **C**omplete (完遂)
- ・ 人材採用、人材育成強化 ⇒ グローバル化への対応、次世代リーダーの育成

■ 成長への投資 ～ 投資機会を積極的に追求 ～

- ・ キャッシュの配分方針 ⇒ 計画的な「**事業投資**」
安定的な配当と機動的な自社株取得による「**株主還元**」
目指す企業像の実現に向けた積極的な「**戦略投資**」
- ・ 2021年度までの戦略投資規模 ⇒ **100億円規模**を想定

■ 経営体制の強化 ～ 企業価値の継続的な成長を実現するための経営体制 ～

- ・ 経営体制の変更 ⇒ 監査等委員会設置会社へ移行し、経営監督機能を強化
- ・ 数値管理の徹底 ⇒ 予算実績管理の徹底とPDCAにより、「改善」を「成長」につなげる
- ・ 業績連動報酬 ⇒ 役員報酬の一部を業績連動に 企業価値向上とモチベーションを連携

- I. 2016年3月期 連結決算概要
- II. 中期経営計画 マスタープラン2016
- III. 2017年3月期 連結業績見通し**

2017年3月期 連結業績見通し

(百万円)	上半期	下半期	17/3月期 見通し	16/3月期 実績
売上高	6,170	6,330	12,500	12,182
営業利益	480	350	830	930
経常利益	510	380	890	967
当期純利益	300	170	470	550
設備投資			1,252	1,541
減価償却費			1,228	961
研究開発費			389	350

2017年3月期 連結業績見通し (部門別)

(百万円)	上半期	下半期	17/3月期 見通し	16/3月期 実績
精機関連				
売上高	3,750	3,800	7,550	7,594
営業費用	3,370	3,550	6,920	6,977
営業利益	380	250	630	617
光製品関連				
売上高	2,420	2,530	4,950	4,587
営業費用	2,320	2,430	4,750	4,274
営業利益	100	100	200	313

ご清聴 ありがとうございます。